

PRESS RELEASE

2019 / 1 / 25

ブラジル先住民の椅子 Benches of the Brazilian Indigenous Peoples

2019年4月6日（土）－5月19日（日）

埼玉県立近代美術館

【展覧会について】

南米大陸、ブラジル北部のアマゾン河やシングー川流域で暮らす先住民の人びと。彼らの作る一木造りの椅子は、動物のかたちや機能的なフォルムに独特な幾何学模様が施されており、ユニークな造形作品としてみることができます。先住民にとっての椅子は、元々は日常生活の中で使用したり、シャーマンによる儀式や結婚式等の特別な機会に用いたりするなど、彼らの生活や伝統、独自の神話と結びついており、コミュニティ内の文化的・社会的なシンボルでもありました。今日、彼らはコミュニティの外との繋がりから刺激を受けて、自然を眺める眼に自らのアイデンティティを求め、用途や伝統に縛られない、より多様で自由な表現を生み出しています。

本展ではベイ・コレクションによるブラジル先住民の椅子約90点を紹介し、独自の感性から生まれた造形に、人間の豊かな想像力の発露を読み取ります。

【ベイ・コレクションについて】

ベイ出版は、ブラジル・サンパウロに拠点を持つ美術・建築関連の出版社です。社名のベイ（BEI）は、ブラジルの先住民の言葉で「もう少し」という意味を持ち、物事の限界に挑み克服しようとする同社の精神を表しています。同社は、出版事業の一方で15年以上前から先住民の手がける椅子の収集を行ってきました。彼らの活動は、先住民による製作物を単なる標本資料として見るのではなく、ブラジル独自の現代的表現として認め、その造形美について評価・普及することを意図しています。

本展は、同社の持つ300点を超えるコレクションの中から、選りすぐりの作品を展示する、貴重な機会となります。

主な出品作品と分類 ※表記:作者名《作品名》(先住民の名称) | 作者名不明の場合は記載なし

【A】 実用性、しきたりにもとづく「伝統的な椅子」

《幾何文様》(カラジャ)、《幾何文様》(アスリニ・ド・シンガー)

【B】 村で使用され、宗教的な効用がある「動物形態の伝統的な椅子」

カナリ作《ホウカンチョウ》(クイクロ)、《ハチドリ》(パリクール)

【C】 先住民としての存在証明であり、想像力から生まれる「動物彫刻の椅子」

ウルフ作《アリクイ》(メイナク)、《バク》(カヤビ)、マワヤ作《サル》(メイナク)、カワカナム&ヤルル作《ジャガー》(メイナク)

関連イベント

■スペシャル・トーク「メイナクの兄弟との出会い」

講師：樋田豊次郎（東京都庭園美術館館長）

本展監修者が、調査旅行のなかで見つけた先住民の椅子の魅力をご紹介します。

日時：2019年4月14日（日）15:00～16:00（開場14:00）

場所：2階講堂／定員：80名（当日先着順）／費用：無料

■スペシャル・ギャラリー・トーク「三沢厚彦、埼玉でブラジルの動物たちと出会う」

講師：三沢厚彦（彫刻家・武蔵野美術大学特任教授）

木彫でさまざまな動物のかたちを探求する彫刻家が、ブラジル先住民の想像力から生み出された動物形態の椅子について縦横無尽に語ります。

日時：2019年5月12日（日）15:00～16:00

場所：2階展示室／定員：30名／費用：企画展観覧料が必要です。

■担当学芸員によるギャラリー・トーク

4月20日(土)、5月11日(土) / 各日とも 15:00 から 30 分程度 / 2 階展示室 / 企画展観覧料が必要です。

■ご希望のグループに「ブラジル先住民の椅子」展の見どころをご案内します(予約制)。

お問い合わせ・ご予約は電話 048-824-0110 教育・広報担当まで。

展覧会情報

1. 会期 2019年4月6日(土)~5月19日(日)
休館日: 月曜日(4月29日、5月6日は開館)
2. 開館時間 10時~17時30分(展示室への入場は17時まで)
3. 観覧料 一般1100円(880円)、大高生880円(710円) ()内は20名以上の団体料金
※中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。
※併せてMOMASコレクション(1F展示室)もご覧いただけます。
4. 主催 埼玉県立近代美術館、日本経済新聞社
5. 後援 駐日ブラジル大使館
6. 特別協力 ベイ出版
7. 協力 CBMM、JR東日本大宮支社、FM NACK5
8. 出品点数 92点(予定)
9. 会場 埼玉県立近代美術館 〒330-0061 さいたま市浦和区常盤9-30-1
電話 048-824-0111 FAX 048-824-0118 <http://www.pref.spec.ed.jp/momas/>
10. アクセス JR京浜東北線北浦和駅西口から徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅までそれぞれ約35分です。当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし台数に限りがありますので予めご了承ください。

※以下の画像の掲載については、当館にお問い合わせください。当館から画像をデータにてご提供いたします。ご請求はメールで、kouhou@aria.ocn.ne.jp(広報担当・谷田)までお願いします。

- ・画像の掲載にあたり、本展では著作権使用許諾申請が必要ありません。
- ・画像掲載する場合、図版下のキャプションを記載してください。
- ・作品部分のトリミング、文字載せなどはしないようお願いします。

お問い合わせ

展覧会担当: 渋谷、大越 / 広報・画像に関してのお問い合わせ: 谷田

電話 048-824-0111(代表) / 048-824-0110(学芸部) Fax 048-824-0118

広報用画像 ※表記：作者名《作品名》(先住民の名称) | 作者名不明の場合は記載なし

【A】 実用性、しきたりにもとづく「伝統的な椅子」



A-1 《幾何文様》(カラジャ)



A-2 《幾何文様》(アスリニ・ド・シンゲー)

【B】 村で使用され、宗教的な効用がある「動物形態の伝統的な椅子」



B-1 カナリ作《ホウカンチョウ》(クイクロ)



B-2 《ハチドリ》(パリクール)

【C】 先住民としての存在証明であり、想像力から生まれる「動物彫刻の椅子」



C-1 ウルフ作《アリクイ》(メイナク)



C-2 《バク》(カヤビ)



C-3 マワヤ作《サル》(メイナク)



C-4 カワカナム&ヤルレル作《ジャガー》(メイナク)